

## 2020年度 事業計画書

2020年度は、当協会の第4次グランドデザイン中期計画（2017－2021）の4年目にあたり、集約的な取り組みの重要な年である。東京オリンピック・パラリンピックの開催から、更には5年後の大阪万博開催までを見据えて、関西・大阪文化の国際発信を進めて行くことが重要であり、関西・大阪21世紀協会もこの課題に重点的に取り組む。なお新型コロナウイルスなどの緊急事態などには機動的に対応していくこととする。

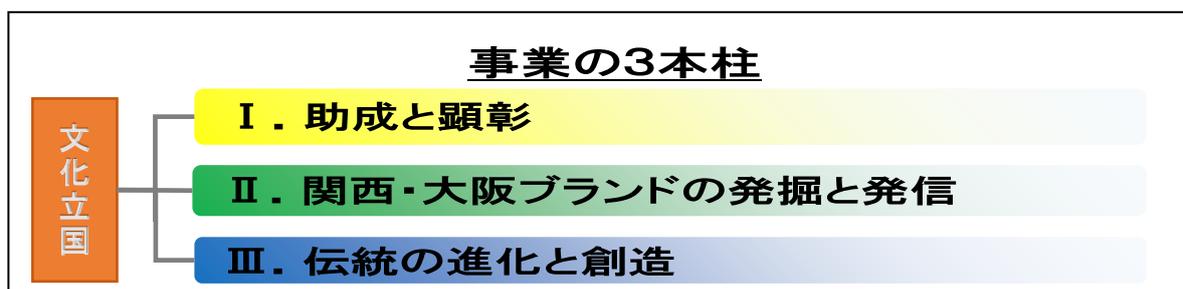
柱となる事業としては、文化庁が日本の文化芸術の振興を図ると同時に海外にもこれを発信しようと進めている「日本博」と連携して事業を推進する。

かつて、平安時代から鎌倉時代にかけて、新天皇の即位の翌年に上町台地の先端にあった難波津で国家・皇室の繁栄、安寧を祈る祭祀「八十島祭」が行われていた。この伝統を蘇らせ、夏から秋にかけては、大阪の7月の恒例行事である「天の川伝説」や生國魂神社の薪能などと連動した一連の「八十島奉祝祭」（仮称）を開催する。秋にはシンポジウムを開催し、他の組織や団体などとの連携によって魅力ある街づくりを促進すると言う当協会の結節点機能を果たす。神楽や能などの多彩な伝統文化を取り込んだ重層的な催しを通して、関西・大阪を舞台にした歴史的な精神文化を現代に呼び起こし、その魅力を内外に発信するムーブメントを創出して5年後の大阪万博につなげることを目指す。

また、日本万国博覧会記念機構から継承した万博記念基金事業を通して「万博理念」に相応しい国際交流活動などに助成を行い、調和ある世界への貢献を推進する他、アーツサポート関西の助成事業や、アートストリーム事業等で人材育成にも重点的に取り組み、若い世代の芸術・文化活動を支援する。

更に、上方芸能については伝統の次世代への伝承のため今年は重点的に事業を実施する。

2021年には、いよいよ「大阪中之島美術館」が開館する他、食文化の祭典「食博'21」とスポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ」が関西エリアを中心に展開される。ビッグイベントは関西・大阪の魅力を国内外に発信する絶好の機会であり、様々な面で準備段階から協力をしていくこととする。



# I. 助成と顕彰

## 1. 「日本万国博覧会記念基金」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金」の運用益の一部をもって、日本万国博覧会の成功を記念するに相応しく、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った国内外で実施される「国際相互理解の促進に資する活動」に対して助成金を交付し、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営のために寄附をする。

### ア. 助成金交付事業

#### A. 助成金交付対象分野

1970年万博の理念を継承し、「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

- 国際相互理解の促進に資する活動
  - …国際文化交流、国際親善に寄与する活動
  - …教育・学術に関する国際的な活動

#### B. 重点助成及び一般助成（2020年度助成事業）

##### （1）重点助成

- ・助成金1,000万円を上限として数件程度採択を予定。（相応しい活動がない場合は「該当なし」とするときもある）
- ・「日本万国博覧会開催の意図」の趣旨により適い、また新規性がある活動で、今後大きな助成の効果が期待できる万博記念基金事業の「顔」となるシンボル活動を重点助成の対象とする。
- ・重点助成の対象となる活動には「万博助成ならでは…」、「万博助成だからこそ…」の新規性、独自性を求める。

##### （2）一般助成

- ・助成金300万円を上限として数十件程度を採択する。

#### C. 2020年度 助成金交付事業

##### （1）2020年度助成金交付

- ・2019年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（50件8,200万円予定）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

#### 2020年度助成金交付決定

（単位：件、万円）

	重点助成	一般助成	合計
国際文化交流、国際親善に寄与する活動	(0) 0	(34) 5,660	(34) 5,660
教育、学術に関する国際的な活動	(0) 0	(16) 2,540	(16) 2,540
合 計	(0) 0	(50) 8,200	(50) 8,200

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

## (2) 実地調査及び事後評価等

- ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
- ・模範的な団体の活動ノウハウの共有と対外発信の強化を図る。
- ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行い、次年度以降の評価に反映する。

## D. 2019年度 助成金交付事業の繰越

- ・2019年度助成金交付事業のうち、助成金交付対象事業の完了時期が2020年度となるものについて事業の繰越を行う。

## E. 助成金交付事業の「見える化」への取組み

- ・国内（一部国外も含む）の助成事業者を一堂に集め、「助成金贈呈式」を開催。合わせて前年度の模範事例の発表などの成果報告会等を行う。
- ・経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者（審査員）、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。
  - …開催日程 2020年5月26日
  - …開催場所 大阪ビジネスパーク円形ホール
  - …参加者数 助成事業者、関係者合わせて100～150名程度

## F. 2021年度 助成金交付事業の募集活動

2021年度の募集活動については次のとおりとする。なお、2021年度助成事業の公募は、日本万国博覧会記念基金創設50周年を記念し、日本の伝統文化の研究をする外国人留学生等を対象とした「人材育成」に重点を置いた複数年度助成に向けて公募を行うと共に、2025年大阪・関西万博の成功に貢献すべく、助成対象の中でも特に同万博に向けて1970年万博の理念を継承・発展させ、新たな時代の価値創造へと繋ぐ活動を、更には、SDGsの観点から重要な課題になっている「途上国の女子教育の支援に関する活動」について優先的に採択するものとする。

### (1) 助成金交付事業の募集

#### ・助成金交付対象分野

1970年万博の理念を継承し、「日本万国博開催の意図」の趣旨に適った以下の活動を助成金交付対象とする。

#### ○ 国際相互理解の促進に資する活動

- …国際交流に寄与する活動
- …国際協力に寄与する活動
- …教育に関する国際的な活動
- …学術に関する国際的な活動

#### ・募集事業 複数年度助成事業、及び単年度助成事業

##### (1) 複数年度助成事業

- ・「日本万国博開催の意図」の趣旨に適い、今後大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・事業期間2～3年度で成果を挙げられる事業を対象とする。
- ・最長3年度、助成総額2,000万円を上限として、年に数件程度を採択予定。（相応しい活動がない場合は「該当なし」とするときもある。）

- ・助成金は年度毎に支払い、単年度での上限金額は1,000万円とする。
- ・各年度の実施状況と次年度の修正計画の報告を受け、次年度の継続助成を行うかどうか審査する。

(2) 単年度助成

- ・助成金300万円を上限として、年に数十件程度を採択する。

・募集方法	ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
・募集説明会	東京・大阪会場
・募集時期	2020年7月～9月
・助成総額	9,000万円（国内外事業助成予定総額）
・助成対象事業の選考	審査会の開催 2021年1月～2月
・助成金の交付決定	決定時期 2021年3月
	〔日本万国博覧会記念基金事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。〕

(2) 奨学金給付事業の募集

・奨学金給付対象分野

1970年万博の理念を継承し、世界の未来を担う「次世代人材育成」を通して日本の伝統文化の世界への理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を奨学金給付対象とする。

・募集対象	日本の伝統文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
・対象大学	日本国内の奨学金の給付対象となる大学（予定4大学）
・対象人数	8名程度（各大学1～3名）
・給付額	月額10万円、年額120万円（1名あたり）
・給付期間	修士課程修学期間（最長で2021年4月～2023年3月）
・募集方法	対象大学による公募やホームページへの掲載
・募集時期	2021年3月（内閣府の「変更届出書」受理後）～4月
・助成総額	約1,000万円
・助成対象の選考	対象大学内選考及び審査会の開催 2021年6月
・奨学金の交付決定	決定時期 2021年6月
・報告会	年2回程度実施
	〔日本万国博覧会記念基金事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。〕

イ. 大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】1億4,000万円程度（万博記念基金の運用益の二分の一）

2. 「アーツサポート関西」(ASK) 事業（公益目的事業3）

広く民間から寄附を集め、関西・大阪の芸術・文化分野で活動する個人や団体に助成することにより、優れた伝統文化の継承や新たな芸術的価値の創出を進めて関西・大阪の活性化に貢献するとともに、関西・大阪の寄附文化の醸成を図る。

ア. 寄附集め活動

「広く、薄く、皆で支える」アーツサポート関西(ASK)の基盤となる「寄附型

自販機」や「古本 de 寄附」の普及拡大、「ASKサポーターズクラブ（法人会員／個人会員）」の加入促進に地道に取り組むとともに、安定した寄附財源の更なる拡大を図る。

一方、個別寄金寄附獲得のための企業への「周年寄金創設」提案や、ASK助成先アーティストの活動成果報告会など様々な機会を通じて、企業や個人から広く寄附を集める。

- A. 「ASK寄附型自販機」の普及拡大（180万円⇒200万円）
- B. 「ASKサポーターズクラブ（法人会員/個人会員）」の加入促進  
（376万円⇒380万円（うち法人300万円））
- C. 「古本 de 寄附」の推進（10万円⇒20万円）
- D. 近く100周年等の節目を迎える「周年企業」への提案推進
- E. 「ASK助成先アーティスト活動報告会」等の推進（関西経済同友会等と連携）  
⇒経済界と連携して「活動報告会」等を通してASK助成先の「見える化」を促し、企業や個人にASK事業への共感を広げ、寄附拡大に結び付ける。  
（活動予算：50万円）

## イ. 助成事業

### A. 2020年度 公募助成事業の実施

#### (1) 一般公募助成

2019年度に募集、審査して交付決定し、2020年度に行われる事業（個人の場合は2019年度からの継続事業も含む）への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

#### 2020年度助成金交付決定

(単位：件、万円)

	件数	金額
美術	3	170
音楽	4	110
舞台芸術	3	130
伝統芸能	2	90
合計	12	500

※上記数値は理事会承認予定の件数及び金額

#### (2) 個別寄金助成

各々の個別寄金の趣旨に合わせて、2019年度に募集、審査して交付決定した事業者への助成と事業完了後の評価、確認を行う。

##### ①前年度からの継続事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」助成 (6年目)	50万円	伝統芸能	公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続

②公募済みの事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「岩井コスモ証券 ASK支援寄金」助成 (4年目)	400万円	美術・デザイン 音楽、伝統芸能	国際的に高い水準の芸術・文化活動を行う者もしくはその潜在性を有する者で、広域関西を拠点に活動する35歳未満の若手芸術家個人(大阪を拠点に活動する者を優先的に支援)
「八千代電設工業伝統 芸能支援寄金」助成 (4年目)	50万円	能楽における青少年を対象にした教育普及活動	広域関西において左記の活動を行う団体
「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (2年目)	20万円	上町大地における寺社とアートとの融合を図る活動	広域関西において左記の活動を行う個人・団体
「コクヨ文楽支援寄金」 助成(1年目)	(2020年度) 250万円 (2021年度) 250万円	関西における文楽の普及発展に貢献する活動	関西(大阪)において左記活動を行う団体
「一花咲かせろ寄金」助成	5万円	関西の若手アーティストによる新しい技術、自作の楽器等を利用した活動	関西(大阪)において左記活動を行う個人
「インディーズバンド 支援寄金」助成	5万円	関西で行われるインディーズバンドによる音楽活動	関西(大阪)において左記活動を行う団体

B. 2021年度助成事業の募集

① 一般公募助成

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
300万円 ～500万円	美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能	関西を拠点に活動する個人・団体 (個人優先採択)	2020年12月 ～2021年1月	協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内、募集説明会の開催など

② 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間	募集方法
「岩井コスモ証券 ASK 支援寄金」助成 (5年目)	400万円	美術・デザイン、音楽、伝統芸能	2020年12月 ～2021年1月	協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内、募集説明会の開催など
「八千代電設工業伝統 芸能支援寄金」助成 (5年目)	50万円	関西で行われる能楽における青少年を対象にした教育普及活動		
「上町台地現代アート 創造支援寄金」助成 (3年目)	20～100万円	上町台地における寺社とアートとの融合を図る活動		

### C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・ 評価・審査委員会            2021年1月～2月（1次～2次）
- ・ 運営委員会                2021年2月～3月上旬（理事会：3月）
- ・ 助成金交付決定            2021年3月

### ウ. 寄附集めのための寄附文化醸成活動

関西経済同友会の放談会（約150名参加/回）における「ASK助成先ミニ公演」（年3回予定）等の開催による「見える化」を推進。関西経済界と連携して様々な機会にASK助成先の活動報告や「見える化」を促し、企業や個人にASKへの共感を広げ、寄附拡大に結び付ける。

### エ. 広報活動

- (1) 個別寄金の寄附者との共同記者会見の企画・運営
- (2) 募集開始、公募助成先決定等のマスコミ発信
- (3) 当協会や関西財界のイベントに、助成先（アーティスト）の出演機会を設ける等、経済界と助成先の橋渡しをする。
- (4) 助成事例の紹介や新しい寄附集め方策の提案発表など、絶えず効果的に对外発信を続けることで、躍動するASKのイメージ形成と関西の寄附文化醸成に努める。

## 3. 人材育成（アーティスト支援）

### ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の気運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- 主 催     大阪府、大阪市、(公財)関西・大阪21世紀協会
- 贈 呈 式    2021年3月

### イ. アートストリーム2020（公益目的事業1）

公募選考により、さまざまなジャンルの新進気鋭のアーティストやクリエイターを幅広く発掘し、発表の場を設けるとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、関西の芸術・文化の高揚を図る。

- 主 催     アートストリーム実行委員会  
            〔大阪芸術大学、大阪府、大阪市、  
            (公財)関西・大阪21世紀協会(事務局)〕
- 実施時期    2020年11月下旬以降（予定）
- 場 所     大丸心齋橋店 北館14階（予定）

## II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

### 1. シンポジウム・フォーラムの開催

#### ア. 関西・大阪文化力会議（公益目的事業1）

2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年の大阪・関西万博の開催など世界的なイベントが控える中、ますます日本への関心を高めることになっている。

そのような状況のもと、世界規模で取り組みを行っている持続可能な開発目標のすべてのゴールに深く関わっている食に焦点をあて、日本の伝統的食文化である和食の魅力や現状、洋食に与えた影響などを見る。また、日本の食文化の知識・技術を蓄積・発信するためのフードスタディー学会の立ち上げについても問う。

実施時期 2020年4月23日(木)

場 所 大阪商工会議所 国際会議ホール

### 2. 関西ブランドの発信

#### ア. 「KANSAI\*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術の三術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行する。

賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布（約1万部）

発行回数 年2回（7月・1月予定）

#### イ. ホームページ、SNSによる発信（公益目的事業1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催する芸術文化活動の最新ニュースや動画をタイムリーに発信するとともに、ウェブマガジンを通じてブランド情報をネット上に蓄積する。

#### ウ. 関西街あるき動画の制作とYouTube発信（公益目的事業1）

独自の視点でその土地の地形や歴史などを探り、普段はなかなか見えてこない“街の過去”を知ることができる番組をケーブルテレビとのコラボレーションにより制作し、放送後は当協会ホームページのコンテンツとして動画を掲載、情報発信を行う。

## エ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

## 3. ネットワークと理解促進

### ア. 21cafe（その他事業1）

関西・大阪等で文化創造活動や街づくりに携わる多彩なゲストを招き、話題提供と情報交換をサロン形式で開催する。異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを創出するとともに、マスコミ関係者をはじめ、当協会の人的ネットワークの幅と厚みを拡大し、文化力向上の一助とする。また、今後の活動の参考にするとともに、当協会の理解促進を図る。

実施回数 通年（年3回）

### イ. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行い、協会だよりで広く活動を紹介する。

### ウ. 広報活動（公益目的事業1）

当協会の活動を広く理解してもらうために、マスコミ関係者とのリレーションを強化し関西プレスクラブへの参画等の取り組みを行う。

## III. 伝統の進化と創造

### 1. コラボレーションによるまちづくり～オリンピック文化プログラムの推進～

#### ア. 令和 OSAKA 天の川伝説 2020（公益目的事業1）

八軒家浜界隈に「いのり星®」を放流し、大川の川面に天の川を描く「OSAKA 天の川伝説」は水都大阪を彩る七夕の風物詩として第11回目を迎える。

地元商店街や大阪天満宮、生國魂神社など関係機関とのコラボレーションを図るために、主催者と一緒になって、まちづくり推進の役割を果たし、当イベントの更なるブラッシュアップを図るために協力を継続する。

また、新たに、同会場周辺において、日本博事業「八十島奉祝祭（仮称）」（奉祝芸能）を実施し、VR等の最先端技術を利用した革新的な演出を加え、新たな文化資源コンテンツの創成に挑戦し、2025年大阪・関西万博に向けて、継続的な事業展開を図るために協力を行う。

主 催 （一社）おしてるなにわ

協 力 （公財）関西・大阪21世紀協会

実施時期 2020年7月7日（火）予定

※ 荒天、増水等で中止の場合、8月7日実施予定

#### イ. 大阪城サマーフェスティバル 2020（公益目的事業1）

「大阪の芸術文化の情報発信力の強化」、「大阪の賑わい創出」を目的として大阪城サマーフェスティバル実行委員会に参画し、「オリンピック・パラリンピック文化プログラム」参加の結節点機能を果たすとともに、大阪城周辺で実施されるさまざまなイベントの情報を集約した合同の告知パンフレットを発行して、大阪の魅力発信と観光集客を目指す。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会  
(大阪府、大阪市、経済団体、関西・大阪21世紀協会(事務局)等)

実施時期 2020年7月～9月（予定）

#### ウ. 日本博事業「八十島奉祝祭（仮称）」（公益目的事業1）

文化庁公募事業に参画し、文化による「国家ブランディング」の強化、「観光インバウンド」の飛躍的・持続的拡充を目的とする事業を行う。

この事業では、古代祭祀「八十島祭」の背景にある精神文化を呼び起こし、日本人の自然観や心を国内外の幅広い人へ発信する奉祝芸能イベントを開催する。奉祝芸能は、神楽「生國魂の舞」、薪能「生國魂」、和太鼓「八十島太鼓」を想定する。なお、同事業では、奉祝芸能イベントを単に実施するだけでなく、VR等の最先端技術を利用した革新的な演出を加え、新たな文化資源コンテンツの創成に挑戦する。

主 催 関西・大阪21世紀協会  
協 力 大阪工業大学、国文学研究資料館 ほか

実施時期 2020年7月～11月（予定）

#### エ. インターナショナルワークショップフェスティバル「DOORS」（公益目的事業1）

市井に埋もれたアーティストや作家を発掘し、大阪の伝統芸能からポップカルチャー、最新アートなど、ワンコイン（500円）で参加できる体験型ワークショップを集中開催し、大阪まちおこしの一助とする。

また、ポータルサイトをリリースし、これまで蓄積したデータベースと開催ノウハウの活用を図る。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会  
(アートサポート共同事業体、(公財)関西・大阪21世紀協会)

実施時期 2020年7月中旬～下旬

#### オ. WEBを活用した高校生によるマーチング（公益目的事業1）

吹奏楽を通じて青少年の育成を図ることを目的に、企業の社会的貢献（CSR）の観点から賛同企業の協力を受けて実施する。

なお、新型コロナ禍において活動が制限される中、高校生によるマーチングの様子を映像に収め、WEBを発表の場として広く情報を発信する。

主 催 関西・大阪21世紀協会  
協 力 関西吹奏楽連盟  
出 場 校 箕面自由学園高等学校、東海大学付属大阪仰星高等学校、四条畷学園高等学校、早稲田摂陵高等学校、神戸弘陵学園高等学校 ほか

カ. 「なにわの企業が集めた絵画の物語」展における「対話型鑑賞プログラム」の実施協力  
(公益目的事業1)

第3回目を迎える関西経済同友会所有美術品展実行委員会主催の「なにわの企業が集めた絵画の物語」展の実施にあたり、当協会のノウハウを活用して「対話型鑑賞プログラム」の実施協力を行う。

今回のプログラムは、小学校への訪問プログラムを企画し、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した展開を図る。

主 催 関西経済同友会所有美術品展実行委員会  
実施時期 2020年12月～2021年2月頃

キ. 「北前船寄港地」の広域連携支援 (公益目的事業1)

本年は新型コロナウイルス禍の感染症対策のため、中止となった「北前船寄港地フォーラム」に代わり、「(一社)北前船交流拡大機構」が取り組む観光庁の新型コロナウイルス対策事業に対し、同機構から協力要請を受けたことから、近畿地区における日本遺産認定の北前船寄港地自治体と連携し同事業に取り組む。

観光庁の事業名: 『誘客多角化のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業』  
…観光需要創出による地方創生事業…

支援対象自治体等: 兵庫県・新温泉町、神戸市、大阪・住吉大社  
日本遺産への協力: 通年

## 2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

上方文化芸能振興事業及び上方伝統行事に、上方文化芸能運営委員会が協賛し、あるいは主催者として当協会の他事業との相乗効果や総合力を発揮できるような展開を図る。

上方伝統行事については、記録映像を集積し当協会ホームページで発信する。

### ア. 上方文化芸能振興事業 伝統文化行事の伝承者の育成

#### A. 日本の文化に親しむ

「町人文化を味わう」

能・狂言を鑑賞する。

実施時期 2020年5月18日(月)

場 所 三輪明神大神神社の能舞台(奈良県桜井市)

#### B. 第21回「上方花舞台」の公演

実施時期 2020年8月26日(水)・27日(木)

場 所 国立文楽劇場

#### C. 季刊誌「やそしま」の発行

#### D. 上方の文化、芸能の資料収集等

### イ. 上方伝統行事への共催・協賛

A. 今宮戎神社宝恵駕行事[無形民俗文化財](2021年1月10日)協賛

B. 住吉大社御田植神事[重要無形民俗文化財](2020年6月14日)共催